

# お知らせ

## 子ども達のより良い学びのために

「長浜の未来を拓く教育検討委員会」では、市内の県立学校のあり方について話し合い、滋賀県と県教育委員会への提言を行うとともに、これからの教育・人材育成のあり方について検討を進めています。

10月15日に開催しました第14回会議の結果についてお知らせします。



### ○第二次提言およびその後の経過について報告しました

9月26日の第二次提言とその後の経過について報告を行うとともに、10月1日に県教育委員会から再編計画（案）が発表されたことについて報告しました。

### ○再編計画（案）について、県教育委員会から説明を受けました

10月1日に発表された再編計画（案）について県教育長から説明を受け、その後、質疑を中心とした意見交換を行いました。

県教育委員会では、今後県内12カ所で説明会を開催し、そこで出された意見を十分に考慮し、必要に応じて修正を加えたいと考えています。

※第一次提言書・第二次提言書やこれまでの委員会資料、議事録は市ホームページに掲載しています。また、高校再編や人材育成などに関する意見は、メールまたは書面にてお寄せください。いただいた意見は、検討委員会に報告します。

企画政策課 (☎65-6505 Eメールkikaku@city.nagahama.lg.jp)



# 利用しよう！公共交通

## バス回数券を上手に使おう！

### コミュニティバスの回数券をご存知ですか？

回数券は現金払いよりもお得だけでなく、小銭の用意が不要で支払いも簡単です。有効期限がなく、家族や友人とまとめて買い、分けて使うこともできます。これからバスを利用してみようとお考えなら、お得で便利な回数券をお試しください。

10時～16時の利用であれば、約3割お得な「あおぞら回数券」もあります。昼の時間帯の買物などに便利です。

回数券のほか、通勤(通学)定期券、通勤(通学)定期回数券、学期定期券など、割引制度を活用して公共交通を便利に利用しましょう！

※会社により取扱商品が異なります。詳しくは、湖国バス長浜営業所(☎64-1224)または余呉バス(☎86-8066)まで問合せください。

Q：回数券の種類と価格は？

A：1セットあたり湖国バスは1,000円～5,000円の各種、余呉バスは2,000円です。

Q：回数券はどこで買えるの？

A：長浜駅東口案内所(湖国バス)、木之本観光案内所(湖国バス・余呉バス)、木之本バスターミナル案内所(余呉バス)で販売しています。

Q：回数券はどのように使うの？

A：バスを降りるとき、運賃に応じて、現金と同じように運賃箱に入れてください。

問 都市計画課交通対策室 (☎65-6562)

## 「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が発行されます ～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日～12月31日に納付した保険料が対象です。

この社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。このため、平成24年1月1日～9月30日の間に国民年金保険料を納付した人に「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を送付します。発送時期は11月上旬です。年末調整や確定申告を行うまで大切に保管してください。

なお、10月1日～12月31日の間に今年はずじめて国民年金保険料を納付した人には、来年の1月下旬に送付されます。

控除証明書が届かない場合、または紛失した場合は、彦根年金事務所まで再発行の手続きをしてください。

問 彦根年金事務所国民年金課 (☎0749-23-1114)

### 年金受給者の皆さん

## 『扶養親族等申告書』は期限までに提出しましょう！

老齢や退職による年金は、所得税法上「雑所得」として所得税が課せられます。(障害年金・遺族年金は課税されません。)

課税の対象となる人には、11月上旬に日本年金機構から「扶養親族等申告書」が送付されますので必ず期限までに提出してください。提出期限は12月1日です。

提出を忘れると各種控除が受けられず、所得税が多く徴収される場合がありますのでご注意ください。

なお、年金以外に収入がある人は確定申告が必要です。

※平成25年分「扶養親族等申告書」が送付される人  
・65歳未満で年金額が108万円以上  
・65歳以上で年金額が158万円以上

問 彦根年金事務所お客様相談室 (☎0749-23-1116)

### 市長コラム



藤井 勇治

※至誠通天 誠を尽くせば天が味方してくれること



### 姉妹都市アウグスブルク市とヴェローナ市訪問



▲アウグスブルク市でグリーブル市長と

去る9月29日、日本を出発し、友好親善を深めるために両市を訪問してきました。アウグスブルク市は、ドイツの南西部に位置する歴史的な都市で、その中心には11世紀に建てられた聖マルティン大聖堂があります。また、市内には多くの博物館や美術館があり、文化や芸術の面で非常に盛況です。今回の訪問は、両市の友好関係をさらに強化し、市民同士の交流を促進することを目的としています。



▲ヴェローナ市でトージ市長と

ヴェローナ市との交流は、キャノン(株)の縁によるものです。街がユネスコの世界遺産に指定されたこと、シエラ・レオネの悲劇「ロミオとジュリエット」の舞台となったこと、イタリアで3番目に大きい円形劇場「アラレナ」があること、文化と芸術の世界を代表する街です。ここでは、フラヴィオ・トージ市長と姉妹都市提携20周年を記念し、今後も引き続きスポーツや文化、芸術などで親睦を深めていこうとの話題で盛り上がりました。トージ市長は、大変気さくな性格で市役所を飛び出し街頭の喫茶店でコーヒーを飲みながら、和やかな話の紹介などをしていただきました。世界中から集まる観光客で街中は賑わい、様々な芸術のパフォーマンスに感動しました。今回の訪問が、長浜市とアウグスブルク市、ヴェローナ市との交流を一歩前進させるきっかけとなることを期待します。